● 指導計画（第６学年）

○主題名　「理解し合うたいせつさ」　（　Ｂ相互理解，寛容　）

○ねらい　団地の子どもたちと話し合う自治会の役員の気持ちを考えることを通して，自分の考えや意見を相手に伝えるとともに，謙虚な心をもち，広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする態度を養う。

○教材名　「『ダン』をどうする？」
（出典：「小学道徳　生きる力」日本文教出版）

事前アンケートと児童の日常の様子とのギャップから課題意識をもたせる。

○学習指導過程

	学習活動	発問（○主な発問，◎中心発問）	○指導上の留意点☆評価
導入	1　アンケート結果を基に、課題意識をもつ。	○「友だちと意見が食い違って考えが一つにまとまらないとき，どうしますか。」 相手と意見が違ったとき，どんな態度が必要だろう。	○アンケート結果から課題意識をもたせ，ねらいとする価値への方向付けを図る。
展開	2　教材「『ダン』をどうする？」の範読を聞き，考え，話し合う。 両方の立場に立たせることで，相手の意見を尊重し，自分の意見を伝えることで分かり合えることが実感できるようにする。	○どのようなことで意見が分かれていますか。 ○「ダン」をどうするか，それぞれの立場に立って話し合いましょう。 【中心発問】 ◎役員たちは，どうして子どもたちの願いを聞き入れたのでしょう。 【解きほぐしの発問】 ○子どもたちのどんなよさから，役員たちは，「子どもたちに教えられた。」と思ったのでしょう。	○子どもたちの願いや自治会の役員の思いを確認する。 ○子どもたちと自治会の役員のどちらかの立場に立たせ，同じ立場同士で話し合わせた後，全体で話し合わせる。次に立場を変えて話し合わせる。　（人とのかかわり） ○子どもたちが謙虚な態度であることや自分たちの考えだけで判断しないで相手の意見も聞いて思案していることに，役員が心を動かされたことに気付かせる。
	3　自分の生活を振り返り，まとめる。 ①今日新たに分かったこと，考えたこと ②今の自分について振り返り，これから生かしたいことという視点で振り返らせる。	○役員や子どもたちの行動から，相手と意見が違ったときどんな態度が必要だと思いますか。	○今までの生活を振り返って自分を見つめ，課題について考えさせる。 （自分とのかかわり） 【キーワード】 ・自分の意見を伝える。 ・相手の意見を尊重する。 ・お互いに理解し合う。
終末	4　振り返りをする。	○「相手と意見がちがったとき，どんな態度が必要か。」について今日の学習を振り返りましょう。 ・学習発表会に向けた練習では，よりよい発表にするため，お互いの気付きを伝え合いたい。	☆自分と異なる意見や立場を尊重し，謙虚な心，広い心で受け止めることの大切さについて考えを深めることができている。